

公民 地理歴史 数学

試験時間60分

〔注 意〕

1. この問題冊子は指示があるまで開いてはいけない。
2. (政治・経済)(日本史)(世界史)(数学) の4科目から1科目を選んで解答すること。
3. 受験番号が正しく記入・マークされていない場合、選択した科目にマークされていない場合または複数の科目にマークされている場合は、0点となる。
4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にマークすること(数学の解答欄は裏面)。
例えば、問題文中に

10

 (政治・経済, 日本史, 世界史),

ア

 (数学) と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10(政治・経済, 日本史, 世界史), 解答記号ア(数学)の解答記入欄の③にマークすること。正しくマークされていない場合は採点できないことがある。

(試験問題は次のページから始まります)

(例) 政治・経済ほか

解答番号	解答記入欄(マーク)
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

数学

解答記号	解答記入欄(マーク)
ア	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

5. 定規・コンパスは使用しないこと。
6. 問題冊子の各ページの余白は自由に使用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
7. 試験終了後、解答用紙は通路側に置くこと。なお、問題冊子は持ち帰ること。

〈マーク式についての注意〉

1. 機械が読み取って採点するので、折り曲げたり汚したりしないこと。
2. マークはHBの鉛筆で枠の中を濃く塗りつぶすこと。
3. 1つのマーク欄には1つしかマークしないこと。
4. 訂正はプラスチック消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除くこと。
5. 所定欄以外には何も書かないこと。

日 本 史

(解答番号 1 ~ 38)

問題 I 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

幕府とは、もともと、出征中の将軍が幕を張って、その中で軍務を決裁する陣営を指す漢語であった。これが転じて日本では、やがて武家政権を意味する語となった。

武家政権としての幕府の始まりは、従来、鎌倉幕府とされてきた。しかし近年では、平氏政権こそ最初の幕府とする説も出ている。平治の乱により、対抗しうる軍事勢力が没落したあと、平氏は国家の軍事・警察機能^(a)を独占的に担うようになった。平氏は、西国を中心に地方武士を A として編成し、内裏の警備にも動員した。また、当時の法皇を幽閉して政治の実権を奪い、都を B へと移した。こうした実態を踏まえれば、平氏政権を幕府と理解する意見にも一理ある。

その後、鎌倉幕府が源頼朝によって樹立された。鎌倉幕府の理解をめぐっても、いくつかの論点がある。まず、鎌倉幕府成立の画期がいつかについては諸説がある。また、鎌倉幕府の正当性はどこにあった^(b)のかも論点となる。鎌倉幕府の支配の正当性は、当初、将軍頼朝と個々の武士との主従関係にあった。しかし、源氏の将軍が早い段階で断絶したため、C が、新たな将軍として京都から迎え入れられた。しかし、C が独自の力をもつようになると、北条氏はこの者を追放した。さらにその翌年、北条氏は、D で三浦一族を滅ぼし、不動の地位を築いた。その後も北条氏は、2回にわたる元軍の襲来を契機に幕府の支配が全国的に強化されていくなかで、^(c)権勢を拡大した。その反面、北条氏による専制政治は、支配基盤である武士からの反発を招いた。^(d)以上からすれば、北条氏は将軍として主従関係の頂点に君臨したわけではないにもかかわらず、なぜ支配の正当性を獲得できたのかが問われよう。

鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇が始めた建武の新政は、わずか3年で瓦解した。^(e)この新政権に反旗を翻した足利尊氏は、京都を制圧すると、幕府を再興するための指針である E を発表し、1338年には征夷大將軍に任命された。かくして成立したのが、室町幕府である。^(f)室町幕府は開創当初、南北朝の分裂だけでなく、幕府内部での対立もあり、長きにわたる抗争が続いた。これらの抗争は、足利義満が将軍になるころによりやく終結へと向かった。このころには、室町幕府の機構もおおむね整った。^(g)

室町幕府は、一般に、足利義昭が織田氏によって京都から追放されたことで滅亡したとされるが、義昭は追放後も将軍職を辞しておらず、なお幕府が成立していたとする意見もある。他方、義昭を追放した後の織田氏は勢力を拡大し、天下人としての名声を高めた。^(h)近年では、この織田政権も幕府としての実態があったとする意見が出されている。このようなさまざまな説について、皆さんはどのように思われるだろうか。

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 1

- ① 家人 ② 評定衆 ③ 保司 ④ 御内人

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な地名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 2

- ① 堺 ② 大宰府 ③ 平泉 ④ 福原

問3 文中の空所Cに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 3

- ① 藤原成親 ② 宗尊親王 ③ 藤原頼経 ④ 以仁王

問4 文中の空所Dに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 4

- ① 応永の外寇 ② 承久の乱 ③ 霜月騒動 ④ 宝治合戦

問5 文中の空所Eに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 5

- ① 新補率法 ② 建武式目 ③ 分国法 ④ 貞永式目

問6 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 6

- ① この乱において、平清盛は、出雲で兵をあげた源義親を討った。
② この乱の結果、崇徳上皇は讃岐に流され、源為義は処刑された。
③ この乱の結果、藤原信頼が斬首され、源義朝も殺された。
④ この乱において、平清盛は、平氏打倒の兵をあげた源義仲を討った。

3 (日 本 史)

問7 下線部(b)に関する次の出来事ア～オを年代の古いものから順に正しく配列したものとして最も適切なものを、後の①～⑥の中から一つ選び、マークして答えなさい。

7

- ア 源頼朝が、鎌倉に居をかまえて侍所を設ける。
 イ 源頼朝が、朝廷から東国の支配権を公認される。
 ウ 源頼朝が、上洛して右近衛大将に任命される。
 エ 源頼朝が、守護、地頭を西国にも設置する権利を認められる。
 オ 源頼朝が、征夷大將軍に任命される。

- ① ア → イ → ウ → エ → オ ④ ア → ウ → エ → イ → オ
 ② ア → イ → エ → ウ → オ ⑤ ア → エ → イ → ウ → オ
 ③ ア → ウ → イ → エ → オ ⑥ ア → エ → ウ → イ → オ

問8 下線部(c)を受けて以降の鎌倉幕府の対応についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

8

- ① 朝廷から、御家人以外の荘園・公領の武士についても動員する権利を得た。
 ② 元による三度目の襲来のおそれがあったため、新たに異国警固番役を創設した。
 ③ 大犯三カ条を定めて、北条一門の者が鎮西探題の職を務めることとした。
 ④ 元軍に対する御家人の戦功に応じて、永仁の徳政令で新たな領地を与えた。

問9 下線部(d)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

9

- ① 全国の守護の半分以上を、北条氏一門が占めるようになった。
 ② 北条氏一門は、奉公衆を派遣して、反対勢力を弾圧するようになった。
 ③ 北条氏一門は、下地中分の取り決めに強制し、現地の地頭の支配権を剥奪した。
 ④ 北条氏の嫡流の当主は、有徳人とよばれるほど絶大な権力を誇った。

(日 本 史) 4

問10 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

10

- ① 関東地方に鎌倉將軍府を設置し、その將軍として新田義貞を派遣した。
 ② 大内裏の造営費用を捻出するため、田の面積に応じて棟別銭を賦課した。
 ③ すべての土地所有権の確認には天皇の綸旨を必要とする旨の法令を出した。
 ④ 天皇の権力を強化するために守護を廃止したので、武士の反発を招いた。

問11 下線部(f)について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

11

- X 北朝側は、関東で北畠親房が、九州で懷良親王が南朝側に抗戦が続けたが、全体の形勢は不利であった。
 Y 鎌倉幕府以来の法秩序を重んじる高師直と、武力により所領拡大をめざす足利直義が対立し、武力衝突した。

- ① X — 正 Y — 正 ② X — 正 Y — 誤
 ③ X — 誤 Y — 正 ④ X — 誤 Y — 誤

問12 下線部(g)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

12

- ① 將軍を補佐する中心的な職として管領が置かれ、この職には、細川、山名、一色の三氏が交代で任命された。
 ② 守護は、領国を守護代に統治させて、自身は京都に身を置き、幕府に出仕するのが原則であるとされた。
 ③ 幕府の地方機関として九州探題が置かれ、この職には、足利基氏の子孫が世襲して任命された。
 ④ それまで朝廷が保持していた京都の市政権を幕府の管轄下に置き、その担当部署として御料所を置いた。

問13 下線部(h)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

13

- ① 大量の鉄砲を用いて甲斐の武田信玄を打ちやぶると、東日本の大名の多くが服属するようになった。
- ② 室町幕府の後ろ楯を失った比叡山延暦寺を焼き討ちすることにより、仏教勢力を服属させた。
- ③ 近江の琵琶湖畔に城を築いて本拠とし、その城下町の商業税を免除することにより繁栄をはかった。
- ④ 生野銀山など各地の金銀の鉱山を直轄地とし、産出した金で天正大判を鑄造して、自己の権勢を誇示した。

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

江戸時代の社会では、儒学が支配秩序の思想的な柱となっていた。例えば、儒学者の^(a)荻生徂徠は、「古聖人の治めに制度という物を立てて、これにて上下の差別をたて、^(b)奢を^(b)抑え、世界を豊かにする」ことが、支配の「妙術」だと説いた。このように、身分や性別に基づく差別を社会秩序の根幹として正当化していた。それでもなお多くの女性たちが、儒学に親しみ、自らの教養や表現に取り入れていた。

平安時代の紫式部や清少納言、近代の与謝野晶子などの女性文学者は広く知られているが、近世の女性作家の名は、歴史教科書であまり目にすることがない。しかし、江戸時代という長い安定期には、地方の知識人や文人の間で、女性もまた筆をとり、儒学などの古典をふまえて、^(c)詩や文人画に親しんでいた。

なかでも、^(d)上層町人や武家の娘たちは、儒学の素養を身につけ、詩文や書画に自らの思想や美意識を託していた。原采蘋や梁川紅蘭といった女性の文人たちは、漢学や儒学を自己修養の糧としながら、同時代の文人と漢詩を交わし、世相をも詠んだ。

美濃の大垣藩医の娘である江馬細香は、そのような女性の文人の代表例である。彼女は、文人画や詩作をたしなみ、世相を詠み、^(e)歴史書を書いた男性知識人とも筆を交えていた。とりわけ、『日本外史』を著した尊王論者でもある A に師事した。生涯独身だった彼女の詩に、「玉立す湘江の碧／人に逢いて数枝を写す／^(f)流伝せば後有るが如し／必ずしも見無きを恨まず」という一首がある。ここでは、^(f)絵を描き人に贈ることが子を遺すことに等しいのだと語り、儒教的な女性の役割を超えて、創作によって生の痕跡を遺すことを詠っている。

他方、女性の活動は文芸の世界だけでなく、生産や信仰の場にも見出される。^(g)農村社会に限らず、女性たちは家事だけではなく、^(g)広く生産に従事し、季節の儀礼にも深く関わっていた。地方の女性の姿は、B による『北越雪譜』にも描かれている。ここでは、越後の ^(g)人びとの暮らしを丹念に観察する姿勢によって、雪国での生産・娯楽・信仰などが克明に記録されている。

また、性別秩序の根強い朝廷においても、儀礼の継承者として女性が存在した。例えば徳川秀忠の孫である C は、近世における数少ない女性天皇となった。

さらに幕末には、^(h)儒学などの学問を通じて尊王攘夷運動に携わった人物として、松尾多勢子のような女性も現れた。^(h)女性教祖のように、宗教においても主導的な地位を占める女性が登場したことも特徴的な現象といえる。

このように、近世日本における女性の表現や活動は、抑圧のなかにありながらも、確かな多様性と創造性をもっていた。文学・宗教・生活——いずれの領域においても、女性たちは声を遺し、現代にも示唆を与えている。

7 (日 本 史)

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

14

- ① 伊能忠敬 ② 杉田玄白 ③ 頼山陽 ④ 平賀源内

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

15

- ① 渡辺崋山 ② 鈴木牧之 ③ 大岡忠相 ④ 富永仲基

問3 文中の空所Cに入れるのに最も適切な天皇名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

16

- ① 明正天皇 ② 霊元天皇 ③ 後陽成天皇 ④ 後水尾天皇

問4 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

17

- ① 京都の僧だった谷時中は、慶長の役で連行された儒者姜沆と交流して、中国由来の正統儒学を日本に広めた。
 ② 林羅山は、徳川家康に用いられて侍講となり、儒者として幕府の文教政策に参画した。
 ③ 海保青陵は、『宇下人言』を著して、朱子学の理論に基づいた皇位継承の道理を説いた。
 ④ 儒者の田能村竹田が著した『蔵志』は、武士の師弟に高度な教育を施すための教科書とされた。

(日 本 史) 8

問5 下線部(b)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

18

- ① 一条兼良らによって始められた、孔子・孟子の古典に直接立ち返ろうとする古学派を受け継いだ。
 ② 『政談』を著し、都市の膨張を抑制するための政策や、武士の土着が必要であることを説いた。
 ③ 統治の具体策を説く経世論の思想は、弟子の伊藤東涯によって受け継がれ、『経済録』へと発展した。
 ④ 徳川吉宗に登用され、問部詮房らと政治顧問の役割を務める一方で、江戸で私塾を始めた。

問6 下線部(c)に関連して、文人画として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

19

- ① 『富嶽三十六景』 ② 『遊覧記』
 ③ 『松林図屏風』 ④ 『十便十宜図』

問7 下線部(d)について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

20

- X 寺子屋は武士階級に限って入門が認められ、幕府直営の下で男女別に運営されていた。
 Y 女子の教訓書として広まった『女大学』は、夫に従うことなど男尊女卑の道徳を説いた。

- ① X — 正 Y — 正 ② X — 正 Y — 誤
 ③ X — 誤 Y — 正 ④ X — 誤 Y — 誤

9 (日 本 史)

問8 下線部(e)に関連して、江戸時代の歴史書についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

21

- ① 水戸藩主の指揮の下で編纂された『大日本史』は、天皇尊崇と封建的秩序の確立に向かう歴史の道筋を説いた。
- ② 『塵劫記』は、朝廷や武家政権の推移を段階的に区分して、徳川家の支配が正統であることを説いた。
- ③ 戸田茂睡の『万葉代匠記』は、古代の朝廷と和歌の歴史を実証的に扱い、国学の源流ともなった。
- ④ 本居宣長は、国学に基づく日本通史として『読史余論』を著し、日本古来の精神に返ることを主張した。

問9 下線部(f)に関連して、江戸時代の生活文化についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

22

- ① 麻の繊維は輸入依存で、江戸時代には使われず、木綿に取って代わられた。
- ② 和紙の漉きは主に都市の職人による工場制手工業によって生産された。
- ③ 木綿が衣料として庶民に普及し、村々の伝統的な地機によって生産された。
- ④ 西陣から高機が伝わり、奈良晒などの絹織物が各地で生産された。

問10 下線部(g)の姿勢で表現した文学者とその著作についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

23

- ① 二条良基は、『俳風柳多留』で世相を背景に人々の欲望と生き抜く姿を描いた。
- ② 井原西鶴は、『大筑波集』で町人の生活や風俗・価値観の機微を描き出した。
- ③ 松尾芭蕉は、『清良記』で自然と人間、世相を鋭くみつめる紀行文を書いた。
- ④ 小林一茶は、『おらが春』で村々に生きる民衆の生活、風物を率直に詠んだ。

問11 下線部(h)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

24

- ① 吉田松陰は伊勢に松下村塾を開き、石川雅望など多数の倒幕派の志士を育てた。
- ② 長州藩では、本多利明が『経済要録』を著し、藩論を攘夷論へと統一させた。
- ③ 藤田東湖や会沢安が説いた後期水戸学は、尊王攘夷運動に大きな影響を与えた。
- ④ 堀保己一は、朝廷が設けた和学講談所で尊王論を説いて、倒幕論を正当化した。

(日 本 史) 10

問12 下線部(i)に関連して、幕末から明治初期の宗教についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

25

- ① 国学者の平田篤胤が説いた復古神道が、神主や豪農の間に広まった。
- ② 仏教者である蘭溪道隆が、信教の自由の立場から神道国教化を批判した。
- ③ 大和出身の中山みきは、不二道の教祖として男女の平等を説いた。
- ④ 開港以降、アメリカ人のフロイスらによってキリスト教が広まった。

問題Ⅲ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。なお、設問における史料には、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。

近代化を進める明治の新政府にとり、支出面で士族に A を支払う義務を負い、また収入面も近世以来の土地制度を引き継いだことは、財源確保の大きな足枷となった。そこで政府は税制の根本的な改革に乗り出し、まず最大の税源である土地については、地租改正によって近代的な租税制度の基礎に据えた。しかし、^(a) 税収を維持するために設定された高率の地租は、被支配者の権利意識を覚醒させた。^(b) 征韓論の政変で敗れた参議院が1874年に政府に提出した建白書も、抽象的な自由等の権利を訴えたものではなく、実際の義務と権利の関係を鋭く問うていた。だがその建白書に始まる政治運動に對抗して出された大日本帝国憲法では、納税は兵役と並んで「臣民」の義務となった。

以後、さまざまな税が創設されていくが、きっかけの多くは対外戦争や軍備拡張で増大する軍事費の調達にあった。例えば1899年制定の所得税は、日清戦争後の軍拡のために、産業革命で生まれた企業や資本家から税を徴収することを意図していた。また日露戦争中に実施された大規模な増税は、この戦争の講和条約で B を得られなかったために戦後も維持されたが、間接税中心のため、庶民の負担は増すばかりだった。こうした状況が、日露戦争終了の翌年における C の結党など、社会主義や社会運動の勃興を促した。

その後も酒税を中心とした間接税が租税の大きな割合を占めたが、^(c) 1910～20年代の大きな経済的変動のなかでも所得税の総額は増加し、地租の税収を上回るようになった。^(d) 昭和恐慌の影響で一時落ち込んだものの、所得税はやがて税収の中核となっていく。

日中戦争が勃発すると、政府はさらに膨脹する軍事費を補うため、当時は奢侈品とされた写真機、蓄音機、レコードなどの販売にも課税した。このように ^(e) 日中戦争開始から敗戦まで、政府は企業の経済活動から民衆の消費や生活に至るまで幅広く統制した。その一環として、1940年実施の税制改革では、税の確実な収納のため、個人の所得税について従業員の手取り天引きの方式で使用者に納めさせる源泉徴収制度が始まっている。

第二次大戦後、日本を占領した GHQ は軍国主義の温床とみなした勢力の解体を企図して、^(f) 財閥解体など大胆な経済制度の改革を実施した。また税制については、GHQ が招いた D の勧告を受けて累進税率の高い直接税中心の体系を採用した。所得税や法人税といった直接税中心の体系は、その後やってきた ^(g) 高度経済成長のなかで、企業も従業員もともに所得が増大していく社会に適合的な税制として定着した。

しかし高度成長が終わると、政府は伸び悩む税収や社会保障費の増大を念頭に、新たな間接税の導入を模索した。^(h) 1970年代後半から幾度か政治的争点になった大型間接税の導入は、1980年代末に消費税となって実現する。当初3%だった消費税の税率はその後何度か引き上げられ、平成不況のなかで重要な財源となって今日に至っている。

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 26

- ① 藩札 ② 蔵物 ③ 家禄 ④ 太政官札

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 27

- ① 領土の割譲 ② 関税自主権 ③ 租借地 ④ 賠償金

問3 文中の空所Cに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 28

- ① 日本社会党 ② 日本共産党 ③ 社会大衆党 ④ 社会民主党

問4 文中の空所Dに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 29

- ① ニクソン ② シャウプ ③ マッカーサー ④ ドッジ

問5 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 30

- ① 欧州を視察して帰国した大久保利通により、留守政府の参議たちの反対を押し切って実施された政策である。
② それまで年貢を負担していた者に地券が交付され、地券の所有者が地租を貨幣で納めることになった。
③ 地租改正にあたり、所有権がはっきりしない山林や原野などは政商に払い下げられ、町村の財政に当てられた。
④ 高率の地租に反発して、西日本で大規模な一揆が頻発したため、政府は税率を5%から3%に引き下げた。

問6 下線部(b)に該当する次の史料を読んで、以下の各問に答えなさい。

史料

臣等伏シテ方今政權ノ帰スル所ヲ察スルニ、上帝室ニ在ラズ、下人民ニ在ラズ、而シテ独リ E ニ帰ス。(中略)臣等愛国ノ情自ラ已ム能ハズ、乃チ之ヲ振救スルノ道ヲ講求スルニ、唯天下ノ公議ヲ張ルニ在ル而已、天下ノ公議ヲ張ルハ民撰議院ヲ立ルニ在ル而已。(中略)夫レ人民、政府ニ対シテ租税ヲ払フノ義務アル者ハ、乃チ其政府ノ事ヲ与知可否スルノ権理ヲ有ス。(中略)今日我政府ノ宜シク以テ其目的トナス可キ者、則民撰議院ヲ立テ、我人民ヲシテ其敢為ノ氣ヲ起シ、天下ヲ分任スルノ義務ヲ弁知シ、天下ノ事ニ参与シ得セシムルニ在リ。〔『日新真事誌』〕

- (1) 史料中の空所Eに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 31

① 元老 ② 藩閥 ③ 有司 ④ 元勳

- (2) 史料の内容とその歴史的背景について述べた次の文a～dについて、最も適切なものの組合せを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

32

- a 建白書では、人民が納税の義務を政府に対して負うならば、税金の使い道を決める国政への参加は人民の権利だと主張している。
- b 建白書では、民選議員たちに政府の決定に参加させることは、政府と共同責任を負わせて政府批判を抑制するのに効果があると説いている。
- c 提出者である大隈重信らは、この建白書によって、まずフランス流の愛国心を呼び覚ますような憲法を制定する必要があると訴えた。
- d この建白書は、政府に提出されるとともに新聞に掲載されたことをきっかけに、国会開設をめぐる論争の火付け役となった。

① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

- 問7 下線部(c)についての次の記述Ⅰ～Ⅲを、年代の古いものから順に正しく配列したものとして最も適切なものを、後の①～⑥の中から一つ選び、マークして答えなさい。 33

- Ⅰ 労働者の増大が労働運動の高揚をもたらし、労働争議が急激に増加するとともに、労働者の祭典メーデーが初めて開催された。
- Ⅱ 大蔵大臣の失言から始まった取り付け騒ぎによって多くの中小銀行が破綻し、内閣の総辞職にまで発展した。
- Ⅲ 最初の労働者保護法である工場法が施行されたが、例外規定の多い不十分な内容にとどまった。

① Ⅰ → Ⅱ → Ⅲ ② Ⅰ → Ⅲ → Ⅱ ③ Ⅱ → Ⅰ → Ⅲ
④ Ⅱ → Ⅲ → Ⅰ ⑤ Ⅲ → Ⅰ → Ⅱ ⑥ Ⅲ → Ⅱ → Ⅰ

- 問8 下線部(d)に関連して、次の表とそれが示す当時の経済状況についての記述として最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

34

表 昭和恐慌前後の主要産品の価格・生産量の推移 *1929年を100とした指標

	1926	1927	1928	1929	1930	1931	1932	1933	1934	1935
米 (価格)	129.9	121.5	106.2	100	87.4	63.5	72.8	73.7	89.8	102.3
生糸 (価格)	122.3	104.3	100.8	100	65.8	45.1	53.2	57.8	40.7	54.4
綿糸 (生産量)	93.4	90.6	87.8	100	90.4	91.9	100.6	111.0	124.3	127.5
粗鋼 (生産量)	65.7	73.5	83.1	100	99.8	82.1	104.6	139.4	167.6	205.1

(三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧 補訂版』より作成)

- ① 米の価格が1933年に底を打って以降、急激に回復を見せるのは、政府が食糧管理制度を採用して米の値段を調節したためである。
- ② 生糸の価格が1935年になっても1929年の半値以下にとどまったのは、最大の輸出先であるアメリカの景気が回復しなかったためである。
- ③ 綿糸の生産量が、恐慌以前の水準以上に増加したのは、円相場的大幅な下落を利用してアジア向けの綿織物の輸出が急伸したためだった。
- ④ 新日本製鉄などの国策会社の大増産によって、粗鋼の生産量が恐慌前の2倍以上に急伸した結果、日本は鋼材生産の自給を達成した。

問9 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

35

- ① 第1次近衛文相内閣は、国体明徴声明を発して国民の愛国心に訴え、節約や貯蓄など日常生活の面から戦争協力を強く促した。
- ② 政府は総力戦を支える国民を育成するため、国民の体位向上や、医療・衛生・社会保障などを管轄する企画院を新たに設立した。
- ③ 東条英機内閣が、重要産業統制法を制定して産業の再編を進めたため、民需産業から軍需産業への大規模な転業が起こった。
- ④ 政府は価格等統制令に基づいて物価上昇を防止し、七・七禁令で贅沢品の製造・販売を禁じたが、物不足は解消しなかった。

問10 下線部(f)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

36

- ① GHQによって持株会社や財閥家族の所有株式は強制的に売却され、財閥傘下企業は6大企業集団への再編を命じられた。
- ② 過度経済力集中排除法によって巨大独占企業の分割が計画され、10社余りが分割されたが、銀行は対象とはならなかった。
- ③ 吉田茂内閣は、基幹産業での増産をはかるため、炭鉱や鉄鋼関係の労働者の権利を一時的に制限する政令201号を発令した。
- ④ 幣原喜重郎内閣は、物価の暴騰を抑えるため、経済安定本部を設置して金融引き締め政策を実施したが、効果は一時的だった。

問11 下線部(g)に関連して、高度経済成長期の経済や社会についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

37

- ① 農村部の中学卒業生が都市部に就職するため、大量の人口移動が起こる集団就職が盛んになる一方で、農村は過疎化が進行した。
- ② 技術革新と活発な設備投資によって、重化学工業中心の産業構造から、サービス産業や金融を中核とする構造に大きく変化した。
- ③ 都市部では住宅・福祉などの問題が争点となり、東京都知事となった美濃部達吉は革新政党的支援を受けて新たな行政を推進した。
- ④ 全国的な公害発生に対する対策として、政府は全国総合開発計画を初めて策定して、環境と調和した経済発展をめざした。

問12 下線部(h)の時期に起こった日本経済の動向についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

38

- ① ハイテク産業の輸出増大が、アジア諸国との間で貿易摩擦を深刻化させた。
- ② 政府が提起した列島改造政策が引き金となって、地価の大規模な高騰が生じた。
- ③ 第1次石油危機の結果、山一証券などの金融機関で企業破綻が相次いだ。
- ④ プラザ合意を契機として、円の対ドル相場が急上昇して円高不況が起こった。